(財)財務会計基準機構会員

平成20年３月期　第１四半期財務・業績の概況

平成19年８月15日

上場会社名	株式会社イーエムシステムズ	上場取引所	東証第二部
コード番号	4820	ＵＲＬ	http://www.emsystems.co.jp/
代表者	（役職名）代表取締役社長　（氏名）國光　浩三		
問合せ先責任者	（役職名）執行役員管理部長（氏名）宮城　孝誓	ＴＥＬ	（06）6397－1888

（百万円未満切捨て）

１．平成20年３月期第１四半期の連結業績（平成19年４月１日　～　平成19年６月30日）

(1) 連結経営成績　（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年３月期第１四半期	2,674	2.4	149	△51.6	158	△50.7	87	△51.1
19年３月期第１四半期	2,612	31.2	308	106.3	322	110.6	178	128.9
19年３月期	11,395	19.0	1,740	32.1	1,763	37.7	995	33.5

	１株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後１株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
20年３月期第１四半期	11	03	10	86
19年３月期第１四半期	22	63	22	35
19年３月期	125	82	123	79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年３月期第１四半期	10,454	7,116	67.1	884	55
19年３月期第１四半期	9,318	6,276	67.4	793	89
19年３月期	11,111	7,206	64.0	896	47

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年３月期第１四半期	△85	△103	△181	880
19年３月期第１四半期	△210	△112	△144	888
19年３月期	714	△1,153	334	1,252

２．平成20年３月期の連結業績予想（平成19年４月１日　～　平成20年３月31日）

平成19年５月15日に公表いたしました業績予想の見直しはおこなっておりません。

（%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	6,435	16.1	880	7.4	883	7.4	486	6.9	61	47
通期	13,867	21.7	2,041	17.3	2,049	16.2	1,118	12.3	141	06

３．その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　：　無

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無　：　有

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無　：　有

（注）詳細は、４ページ【定性的情報・財務諸表等】　３．その他をご覧ください。

（参考）個別業績の概要

１．平成20年３月期第１四半期の個別業績（平成19年４月１日　～　平成19年６月30日）

(1) 個別経営成績　（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年３月期第１四半期	1,946	△1.9	123	△61.3	133	△59.9	73	△61.5
19年３月期第１四半期	1,984	35.2	318	146.7	333	151.3	190	189.9
19年３月期	8,742	19.1	1,648	29.4	1,678	35.3	947	31.6

	１株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後１株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
20年３月期第１四半期	9	22	9	08
19年３月期第１四半期	24	04	23	74
19年３月期	119	70	117	78

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年３月期第１四半期	9,644	6,934	70.8	861	53
19年３月期第１四半期	8,640	6,167	71.4	780	15
19年３月期	10,344	7,038	67.1	875	26

２．平成20年３月期の個別業績予想（平成19年４月１日～平成20年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	5,104	19.3	848	4.6	857	5.0	471	4.5	59	58
通期	11,112	27.1	1,959	18.9	1,976	17.8	1,087	14.7	137	11

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

１．連結経営成績に関する定性的情報

当四半期の売上高は2,674百万円（前年同期比2.4%増）、経常利益158百万円（前年同期比50.7%減）、四半期純利益87百万円（前年同期比51.1%減）となりました。

調剤薬局全体としましては、平成18年４月の医療制度改正による処方の長期化の影響により、調剤薬局の経営は引き続き収益確保が厳しい状況であり、平成20年４月施行予定の医療制度改正では、後期高齢者の外来診療の包括払い制度など大きな制度変更が見込まれていることから、調剤薬局全体が設備投資に対して慎重に見極める局面にきております。

このような状況のもと、調剤薬局事業につきましては、前期第４四半期より新施策を投入し積極的な営業活動の展開により「Ｒｅｃｅｐｔｙ」への自社リプレースを推し進めておりましたが、医療制度改革の影響により買い控え傾向にある調剤薬局が、製品の買い替えよりもソフト保守契約をする傾向が強く見られ、当初見込んでいたより自社リプレースの受注件数鈍化が見られました。また、前期第１四半期に見られました調剤薬局の新規開局に伴う「Ｒｅｃｅｐｔｙ」の新規導入も、当四半期には減少傾向が見られました。なお、他社リプレースにつきましては、概ね堅調に推移しております。このような市場環境を見据え、当社としましては当期よりシステム販売の需要だけでなくサプライ品のシェアを拡大することで、業績の向上に向けて積極的に取り組んでおります。また、前期より稼動しております「EMフィールドコミュニケーションセンター」（非対面営業センター）の活動により、自社リプレースのみならず他社リプレースの案件の発掘も出始めており、受注獲得へと繋がりつつあります。医療制度改正の影響により収益確保が厳しくなっている調剤薬局は、コスト管理やさらなる付加価値の提供を求めており、服薬指導支援システム「Ｎａｖｉｔｙ」の導入が順調に進んでおります。また、「Ｎａｖｉｔｙ」が「Ｒｅｃｅｐｔｙ」の導入とあわせて採用されていることから、１件当たりのシステム販売単価は前年度を維持しております。

平成18年４月に厚生労働省から「レセプトのオンライン請求に係るセキュリティに関するガイドライン」が公表されたことに伴い、レセプトオンライン請求義務化に向けて調剤薬局の注目度が非常に高まっております。当社としましては、業界に先駆けてＡＳＰサービスや将来的な病診薬連携など、医療情報システム全般で利用可能となるセキュアなネットワークサービスの提供ができる新製品「レセプトオンライン請求スターターキット」を本年７月に発売しました。平成21年４月に医療機関に対してレセプトの全面オンライン化が義務化されるため、調剤薬局向けのセミナーや展示会を全国的に実施することで、市場の囲い込みよるシェア拡大に努めております。

ネットワーク事業につきましては、調剤薬局チェーンやドラッグストアでは出店競争や業務提携による業界再編が続いており、「ＮＥＴ　Ｒｅｃｅｐｔｙ」「ＮＥＴ－α」の導入も引き続き見込まれております。また、当社独自のＡＳＰの技術基盤を活用した新たなサービスとしては、当社のレセコンを活用しユーザーが必要とする医療情報を容易に入手することができる仕組みを検討しております。

医科システム事業につきましては、前期より社内体制を整備し、当期から全国に向け本格的な営業活動を開始しております。調剤薬局事業の販売チャネルを有効活用し他社リプレース案件の獲得に向けて取り組んでおり、案件や受注獲得も出始めております。しかしながら、関係構築から販売までに時間を要することから、既存の販売チャネル（医薬品卸企業）へのアプローチも再度強化している状況であります。また、当期より「EMフィールドコミュニケーションセンター」（非対面営業センター）の活動を医科システム事業にも展開し、当社独自の案件の発掘による受注獲得に向けて積極的に取り組んでまいります。

業務効率化のため進めておりましたシステムの出荷・納品のセンター集中化プロジェクト（ＥＳプロジェクト）につきましては、協力会社の技術習得の遅れにより導入スケジュールが遅れておりますが、効率化に向けて積極的に進めてまいります。

調剤薬局事業につきましては、医療制度改革による影響はあるものの医療サービスの向上に努め堅調に推移しております。本年４月より梅田北店において開設しました鍼灸・マッサージの店舗（祥明）につきましては、漢方・調剤薬局との相乗効果により来院者数の増加へと繋がっております。調剤薬局事業においてさらなる経営の合理化を図るためにも、政府が強力に推進するレセプトオンライン請求には、早期対応して取り組んでまいります。

平成17年２月に取得した土地につきましては、平成20年３月のビル竣工に向け建設工事が順調に進んでおります。テナントの誘致については医療関連を中心とした優良企業が数フロア確定しております。テナント候補から入居に関する需要も多く、平成20年３月のビル竣工までには交渉が完了し入居が確定する見通しです。

２．連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期末における総資産は、現金預金、受取手形及び売掛金の減少により、前期末に比べ657百万円の減少となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金、未払法人税等が減少したことにより、前期末に比べ567百万円の減少となりました。

３．その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

・税金費用については、年間予測税率により算定しております。

・引当金並びに重要性の低いものについては、一部簡便な手続きを用いております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

当第１四半期より、平成19年度法人税法の改正に伴い、平成19年４月１日以降に取得した固定資産については、改正後の法人税法に規定する償却方法により減価償却費を計上しております。

また、平成19年３月31日以前に取得した固定資産については、改正前の法人税法に規定する償却方法により減価償却費を計上し、償却可能限度額まで償却した資産については、その残存価額を償却可能限度額に達した事業年度の翌事業年度以後５年間で備忘価額まで均等償却を行う方法を採用しております。

４．四半期連結財務諸表

(1)（要約）四半期連結貸借対照表

（単位：千円、％）

科目	前年同四半期（平成19年３月期第１四半期末）	当四半期（平成20年３月期第１四半期末）	増減		（参考）平成19年３月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
（資産の部）					
Ⅰ　流動資産					
現金及び預金	814,358	506,036			877,922
受取手形及び売掛金	2,288,222	2,609,798			2,985,134
有価証券	103,338	403,951			403,573
たな卸資産	263,682	206,204			220,470
繰延税金資産	157,606	166,814			166,814
その他	96,617	121,058			101,830
貸倒引当金	△5,049	△333			△333
流動資産合計	3,718,777	4,013,530	294,752	7.9	4,755,412
Ⅱ　固定資産					
有形固定資産					
建物及び構築物	408,649	380,673			385,697
土地	3,917,207	3,861,317			3,861,317
建設仮勘定	80,757	1,034,588			1,032,698
その他	264,396	243,741			226,154
有形固定資産合計	4,671,011	5,520,320	849,309	18.2	5,505,867
無形固定資産					
ソフトウェア	165,974	156,063			88,321
その他	5,918	5,918			5,918
無形固定資産合計	171,892	161,981	△9,911	△5.8	94,240
投資その他の資産					
敷金及び保証金	302,863	310,736			307,302
その他	454,454	448,095			449,030
貸倒引当金	△84	△138			△138
投資その他の資産合計	757,234	758,694	1,459	0.2	756,195
固定資産合計	5,600,138	6,440,996	840,857	15.0	6,356,302
資産合計	9,318,916	10,454,527	1,135,610	12.2	11,111,715
（負債の部）					
Ⅰ　流動負債					
支払手形及び買掛金	532,233	565,207			598,431
短期借入金	300,000	780,000			780,000
１年以内返済予定長期借入金	16,200	―			―
未払法人税等	149,247	80,280			609,064
賞与引当金	143,059	120,313			264,057
その他	774,979	887,272			751,012
流動負債合計	1,915,720	2,433,073	517,353	27.0	3,002,565

（単位：千円、％）

科目	前年同四半期（平成19年３月期第１四半期末）	当四半期（平成20年３月期第１四半期末）	増減		（参考）平成19年３月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
Ⅱ　固定負債					
繰延税金負債	694,014	553,194			552,819
退職給付引当金	158,051	182,945			174,540
役員退職慰労引当金	115,880	1,340			8,292
製品保証引当金	158,236	166,996			166,996
その他	705	－			－
固定負債合計	1,126,887	904,476	△222,411	△19.7	902,648
負債合計	3,042,607	3,337,549	294,942	9.7	3,905,213
（純資産の部）					
Ⅰ　株主資本					
資本金	1,563,209	1,571,823			1,571,458
資本剰余金	1,534,314	1,542,928			1,542,563
利益剰余金	3,167,050	3,889,198			3,984,071
自己株式	△699	△699			△699
株主資本合計	6,263,874	7,003,250	739,375	11.8	7,097,393
Ⅱ　評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	12,433	10,722			10,174
評価・換算差額等合計	12,433	10,722	△1,711	△13.8	10,174
Ⅲ　新株予約権	－	103,004	103,004	－	98,933
純資産合計	6,276,308	7,116,977	840,668	13.4	7,206,501
負債純資産合計	9,318,916	10,454,527	1,135,610	12.2	11,111,715

(2) （要約）四半期連結損益計算書

（単位：千円、％）

科目	前年同四半期（平成19年３月期第１四半期）	当四半期（平成20年３月期第１四半期）	増減		（参考）平成19年３月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
Ⅰ　売上高	2,612,590	2,674,833	62,242	2.4	11,395,361
Ⅱ　売上原価	1,255,644	1,275,375	19,731	1.6	5,237,140
売上総利益	1,356,946	1,399,457	42,511	3.1	6,158,220
Ⅲ　販売費及び一般管理費	1,048,574	1,250,091	201,517	19.2	4,417,844
営業利益	308,372	149,366	△159,006	△51.6	1,740,375
Ⅳ　営業外収益	15,882	14,438	△1,444	△9.1	57,341
Ⅴ　営業外費用	2,198	4,903	2,704	123.0	34,672
経常利益	322,055	158,901	△163,154	△50.7	1,763,044
Ⅵ　特別利益	－	－	－	－	115,683
Ⅶ　特別損失	509	1,277	767	150.7	98,568
税金等調整前四半期（当期）純利益	321,546	157,623	△163,922	△51.0	1,780,159
税金費用	142,605	70,143	△72,461	△50.8	784,197
四半期（当期）純利益	178,940	87,480	△91,460	△51.1	995,961

(3) （要約）四半期連結株主資本等変動計算書

前第１四半期連結会計期間（平成18年４月１日　平成18年６月30日）

（単位：千円）

	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等	
平成18年３月31日残高	1,563,209	1,534,314	3,136,697	△699	6,233,521	14,697	14,697	6,248,218
第１四半期中の変動額								
剰余金の配当	－	－	△118,587	－	△118,587	－	－	△118,587
役員賞与	－	－	△30,000	－	△30,000	－	－	△30,000
四半期純利益	－	－	178,940	－	178,940	－	－	178,940
株主資本以外の項目の四半期中の変動額（純額）	－	－	－	－	－	△2,263	△2,263	△2,263
第１四半期中の変動額合計	－	－	30,353	－	30,353	△2,263	△2,263	28,090
平成18年６月30日残高	1,563,209	1,534,314	3,167,050	△699	6,263,874	12,433	12,433	6,276,308

当第１四半期連結会計期間（平成19年４月１日　平成19年６月30日）

（単位：千円）

	株主資本					評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等		
平成19年３月31日残高	1,571,458	1,542,563	3,984,071	△699	7,097,393	10,174	10,174	98,933	7,206,501
第１四半期中の変動額									
新株予約権の行使	365	365	－	－	730	－	－	－	730
剰余金の配当	－	－	△182,353	－	△182,353	－	－	－	△182,353
四半期純利益	－	－	87,480	－	87,480	－	－	－	87,480
株主資本以外の項目の四半期中の変動額（純額）	－	－	－	－	－	547	547	4,071	4,618
第１四半期中の変動額合計	365	365	△94,873	－	△94,143	547	547	4,071	△89,524
平成19年６月30日残高	1,571,823	1,542,928	3,889,198	△699	7,003,250	10,722	10,722	103,004	7,116,977

前連結会計年度（平成18年４月１日　平成19年３月31日）

（単位：千円）

	株主資本					評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等		
平成18年３月31日残高	1,563,209	1,534,314	3,136,697	△699	6,233,521	14,697	14,697	－	6,248,218
連結会計年度中の変動額									
新株予約権の行使	8,249	8,249	－	－	16,498	－	－	－	16,498
剰余金の配当	－	－	△118,587	－	△118,587	－	－	－	△118,587
役員賞与	－	－	△30,000	－	△30,000	－	－	－	△30,000
当期純利益	－	－	995,961	－	995,961	－	－	－	995,961
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）	－	－	－	－	－	△4,522	△4,522	98,933	94,410
連結会計年度中の変動額合計	8,249	8,249	847,374	－	863,872	△4,522	△4,522	98,933	958,283
平成19年３月31日残高	1,571,458	1,542,563	3,984,071	△699	7,097,393	10,174	10,174	98,933	7,206,501

(4)（要約）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前年同四半期 （平成19年３月期 第１四半期）	当四半期 （平成20年３月期 第１四半期）	（参考） 平成19年３月期
区分	金額	金額	金額
Ⅰ　営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期（当期）純利益	321,546	157,623	1,780,159
減価償却費	65,065	40,953	265,019
退職給付引当金の増減額	△2,309	8,405	14,179
役員退職慰労引当金の増減額	567	△6,952	△107,020
製品保証引当金の増加額	－	－	8,760
賞与引当金の増減額	△100,075	△143,744	20,922
貸倒引当金の減少額	－	－	△4,662
受取利息及び受取配当金	△420	△866	△2,944
支払利息	464	1,611	2,900
商品評価損	－	－	19,295
株式報酬費用	－	4,071	98,933
売上債権の増減額	191,065	375,335	△505,846
たな卸資産の減少額	1,382	14,266	25,298
仕入債務の増減額	△39,318	△33,223	26,878
その他	△74,255	82,665	△34,731
小計	363,710	500,144	1,607,142
利息及び配当金の受取額	426	873	2,930
利息の支払額	△339	△3,686	△3,050
法人税等の支払額	△574,643	△583,273	△892,539
営業活動によるキャッシュ・フロー	△210,846	△85,941	714,482
Ⅱ　投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△113,203	△65,482	△1,228,392
有形固定資産の売却による収入	－	－	86,743
無形固定資産の取得による支出	△939	△40,456	△11,622
その他	1,996	1,996	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△112,147	△103,942	△1,153,271
Ⅲ　財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増加額	－	－	480,000
長期借入金の返済による支出	△24,800	－	△41,000
株式の発行による収入	－	730	16,498
配当金の支払額	△118,587	△182,353	△118,587
その他	△1,302	－	△2,008
財務活動によるキャッシュ・フロー	△144,690	△181,623	334,902
Ⅳ　現金及び現金同等物の減少額	△467,684	△371,507	△103,886
Ⅴ　現金及び現金同等物の期首残高	1,356,381	1,252,495	1,356,381
Ⅵ　現金及び現金同等物の期末残高	888,697	880,987	1,252,495

(5) セグメント情報

［事業の種類別セグメント情報］

前年同四半期（平成19年３月期第１四半期）

（単位：千円）

	調剤薬局向けシステム事業及びその関連事業	調剤薬局事業	計	消去又は全社	連結
売上高	1,984,716	642,550	2,627,267	△14,676	2,612,590
営業費用	1,665,930	649,558	2,315,489	△11,270	2,304,218
営業利益	318,786	△7,008	311,778	△3,405	308,372

当四半期（平成20年３月期第１四半期）

（単位：千円）

	調剤薬局向けシステム事業及びその関連事業	調剤薬局事業	計	消去又は全社	連結
売上高	1,946,023	730,576	2,676,599	△1,766	2,674,833
営業費用	1,822,497	708,202	2,530,700	△5,233	2,525,466
営業利益	123,525	22,374	145,899	3,466	149,366

（注）１．事業区分の方法

事業区分は、製商品の性質及び販売市場の類似性を考慮して区分しております。

２．各区分に属する主要な製商品

事業区分	主要製商品
調剤薬局向けシステム事業及びその関連事業	調剤レセコン、医科レセコン、ネットワークシステム、薬袋プリンタ、各種サプライ及びメンテナンスサービス
調剤薬局事業	医薬品

［所在地別セグメント情報］

前年同四半期、当四半期において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

５．販売の状況

（単位：千円、％）

事業の種類別セグメントの名称		前年同四半期		当四半期		増減率
		金額	構成比	金額	構成比	
調剤薬局向けシステム事業及びその関連事業	調剤システム	1,599,108	61.2	1,564,916	58.5	△2.1
	医科システム	54,958	2.1	25,534	1.0	△53.5
	ネットワークシステム	71,076	2.7	78,049	2.9	9.8
	サプライ	192,994	7.4	193,549	7.2	0.3
	保守サービス	51,901	2.0	82,205	3.1	58.4
	計	1,970,040	75.4	1,944,256	72.7	△1.3
調剤薬局事業		642,550	24.6	730,576	27.3	13.7
合計		2,612,590	100.0	2,674,833	100.0	2.4

（注）　セグメント間の取引については相殺消去しております。